

岐阜県立西濃高等特別支援学校で防災講座を行いました

令和8年6月12日（金）、岐阜県立西濃高等特別支援学校で全校生徒69名に防災講座を行いました。3年生は総合的な探究の時間で防災教育に取り組んでいるそうです。

講座では、大垣市でも被害のあった伊勢湾台風や今年で発生から50年の節目を迎える9.12豪雨災害など過去に発生した水害を学習し、学校の想定浸水深や5月29日から運用が始まった新たな防災気象情報を確認しました。

また、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部との対話体験、A1水防災カードクイズなど体験学習も行いました。VR体験が初めてという生徒が多く、360度見回しながら「すごい」「リアルで怖い」との声が多く上がっていました。伊勢湾台風A1語り部との対話体験では、「どのくらい被害がありましたか?」「食料はどうしていましたか?」など様々な質問をし、A1水防災カードクイズでは、グループで話し合いながら備蓄品や避難行動への理解を深めていました。

講座の最後には、「災害の経験不足から逃げ遅れが発生することが分かり、日頃からの備えが大事だと感じました。」との感想を頂きました。今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、岐阜新聞に取材頂きました。

